

ハニーサッカード、黒人霊歌を歌う

アメリカのオペラシーンで活躍するバリトン歌手ハニーサッカー。
今回は現代アメリカのオペラアリアと共に、
アメリカ音楽のルーツとも言える黒人霊歌を歌います。

Robert Honeysucker Baritone Recital

ロバート・ハニーサッカー
バリトンリサイタル

ピアノ：安田紀子



アーロン・コープランド (1900-1990) : “古いアメリカ民謡集”より

Aaron Copland (1900-1990): From “Old American Songs”

マーク・アダモ (b.1962) : オペラ “若草物語” よりアリア「貴女はかの地を知っていますか」

Mark Adamo (b.1962): Aria “Kennst du das Land (Do You Know the Land)” From Opera Little Women

ホール・ジョンソン (1888-1970) : 流れよ、ヨルダン川よ

Hall Johnson (1888-1970): Roll, Jerd'n Roll

マーガレット・ボンズ (1913-1972) : 王イエスは私のもの 他

Margaret Bonds: King Jesus Will be Mine

2012年6月26日(火)

19:00 開演 (18:30 開場)

東京オペラシティ リサイタルホール

京王新線 (都営地下鉄新宿線乗り入れ) 初台駅東口下車 徒歩5分以内
(東京オペラシティビルに直結しています。)

チケット：一般 **3,000** 円 / 学生 **2,000** 円 (全自由席)

お問い合わせ 東京コンサーツ 03-3226-9755 <http://www.tokyo-concerts.co.jp>

(東京コンサーツ HP より予約、セブンイレブンで支払・受取ができます)

チケット 東京オペラシティチケットセンター 03-5353-9999

主催：ロバート・ハニーサッカー リサイタル実行委員会

制作協力：株式会社 東京コンサーツ



〒163-1403 東京都新宿区西新宿 3-20-2

Robert Honeysucker Bariton Recital

ロバート・ハニーサッカー | バリトンリサイタル

アメリカ・ボストンを拠点に活躍するバリトン歌手ロバート・ハニーサッカー氏は、2006年に大阪フィルハーモニー交響楽団(井上道義指揮)、2007/08年に東京フィルハーモニー交響楽団(尾高忠明指揮)との共演、また、2010、11年にはソロコンサートを開催するなど、度々来日してその魅力ある歌声を披露してきました。今回は日本に“アメリカの音楽”、特に黒人霊歌(スピリチュアル)などを紹介したいとの思いから、リサイタルを開催いたします。その他に、20世紀アメリカ音楽を代表する作曲家コーブランドの作品、また現代の作曲家マーク・アダモのオペラ「若草物語」のアリアまで、幅広いアメリカの音楽をどうぞお楽しみください。

アーロン・コーブランド(1900-1990): “古いアメリカ民謡集”より
Aaron Copland (1900-1990): From “Old American Songs”

「くせもの」「ささやかな贈り物」「私は猫を買ってきた」「河岸で」
「チンガ・リング・チャウ」
“The Dodger” “Simple Gifts” “I Bought Me a Cat” “At the River” “Ching-a-ring Chaw”

チャールズ・アイヴズ(1874-1954): ピアノソナタ第2番”オールコット家の人々”(ピアノソロ)
Charles Ives (1874-1954): Piano Solo “The Alcotts” from Sonata Nr.2

リー・ホイビー(1926-2011): 私は夢を持っている
Lee Hoiby (1926-2011): I Have a Dream

ダグラス・ムーア(1893-1969): オペラ“ベイビー・ドウ物語”より
アリア「秋の光のように暖かく」

Douglas Moore (1893-1969): Aria “Warm as the Autumn Light” From Opera The Ballad of Baby Doe

マーク・アダモ(b.1962): オペラ“若草物語”より
アリア「貴女はかの地を知っていますか」

Mark Adamo (b.1962): Aria “Kennst du das Land (Do You Know the Land)” From Opera Little Women

マーガレット・ボンズ(1913-1972): “ニンプル・フィート”(ピアノソロ)
Margaret Bonds (1913-1972): Piano Solo “Nimble Feet”

黒人霊歌

マーガレット・ボンズ(1913-1972): 王イエスは私のもの
Margaret Bonds: King Jesus Will be Mine

モーゼス・ホーガン(1957-2003): 私の神はここで良い事をしてくれた
Moses Hogan (1957-2003): My Good Lord's Done Been Here

ヘリー・バーリー(1866-1949): イエスを私に
Harry Burleigh (1866-1949): Give Me Jesus

ホール・ジョンソン(1888-1970): 流れよ、ヨルダン川よ
Hall Johnson (1888-1970): Roll, Jerd'n Roll

ジャクリーン・ヘアストン(b.1933): 疲れを知らずに
Jacqueline Hairston (b.1933): Don't Feel No ways Tired

*曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ロバート・ハニーサッカー | バリトン

Robert Honeysucker

バリトン歌手ロバート・ハニーサッカーは、アメリカ国内にとどまらずヨーロッパ等各地にて、オペラ・コンサートへの出演等、国際的に活躍している。1995年、ボストン・グローブ紙の「ミュージシャン・オブ・ザ・イヤー」に選ばれた。また、ナショナルオペラ協会アーティストコンクール優勝、ニューイングランド・オペラクラブ「ヤーコボ・ペリ賞」を受賞。

オペラにおいては、モーツァルト「フィガロの結婚」、「ドン・ジョヴァンニ」、ロッシニ「セヴィリヤの理髪師」、ガーシュウィン「ボーギーとベス」などのタイトルロールを務めたほか、ヴェルディ「ファルスタッフ」、「アイダ」、「椿姫」、プッチーニでは「蝶々夫人」、「トスカ」等に出演、評価が高い。これまでに、アメリカ、ヨーロッパ、ニュージーランド、オーストラリア、日本、ベルシャ湾岸におけるオペラやコンサートに出演、好評を得ている。ボストン交響楽団と度々共演しており、小澤征爾氏の就任25周年記念演奏会やボストン・シンフォニーホール100周年記念演奏会などの公演でもソリストを務めた。

最近では、J.レヴァイン指揮、ベートーヴェン「フィデリオ」に出演。J.ウィリアムズ、K.ロックハートなどの指揮するボストン・ポップスとも多くの公演で共演。アメリカ国内でのオーケストラの公演にて、大植英次、M.ティルソン・トーマス等の各氏と共演している。

バッハ・アリア・グループおよびVidemusのメンバーを務めるほか、あまり演奏されることのないアフリカ系アメリカ人の作品を含むアメリカ歌曲を紹介するジュビリー・トリオを創立、活動を続けている。現在、ボストン在住。

安田紀子 | ピアノ

Noriko Yasuda

大阪音楽大学卒業後、およそ10年にわたり、大阪フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、京都市交響楽団、関西歌劇団、大阪音楽大学カレッジ・オペラハウスで盤奏者、コレペティートルとして活躍し、1993年に渡米、マサチューセッツ州ロンジー音楽院でチェンバロをピーター・サイクス氏に師事し、アーティスト・ディプロマを取得。1996年、卒業と同時に同音楽院オペラ科コーチとして採用された。また、ボストン・リリックオペラ、オペラ・ニューイングランド、オペラ・ノース、ヘンデル・アンド・ハイドンソサエティ、ボストン・バロック等の団体にコーチ及び伴奏者として活動している。

現在、ロンジー音楽院オペラ科ヘッドコーチ、ボストン大学オペラプログラム・コーチ、大阪芸術大学大学院非常勤客員講師。